

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年09月06日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚, NUBICベンチャークラブ特別会員, 一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000053"/>	整理番号 <input type="text" value="11444"/>	担当者 <input type="text" value="小森 幹雄"/>
表 題	<input type="text" value="冗長2進加算復号装置、及び乗算装置"/>		
技術分野	<input type="text" value="情報・通信"/>	<input type="text" value="電気・電子"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="デジタル冗長2進加算復号装置、高速アフィン変換装置"/>		
目 的	<input type="text" value="近年、地上デジタルTVや三次元TVなどのように、デジタル映像に対する処理システムが開発されているが、今後の高精細度化などには同システムの高高速化が必要である。ここでは、加算と乗算処理の高高速化が不可欠である。本発明では、デジタル冗長2進加算に基づく加算器配列形乗算器の高高速性を進化させるため、新しい冗長2進加算復号器を実現し、入力から出力までの処理時間遅れの増大を軽減した乗算装置を開発する。"/>		
技術概要	<input type="text" value="デジタル冗長2進加算器では、真理値(0と1)からなる通常の2進数に対して負の要素(-1)を加えた冗長数を用いて、繰り上げ演算の連鎖を排除できるので、高速動作が実現している。このため、同加算器の配列で構成されたデジタル乗算器は、冗長数から同2進数に変換するための復号処理が必要になるので、ここでの伝搬遅延が発生して、同乗算器の高高速性が損なわれていた。このため、同処理が負要素を除いた正の要素ベクトルから負要素ベクトルの減算で表わされることから、本発明では同配列加算器出力段の冗長加算と同減算を一括で同時処理するデジタル冗長2進加算復号装置を開発している。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp